

臨床実習での学習共有ツール開発



鵜沼 篤

医員

Atsushi Unuma

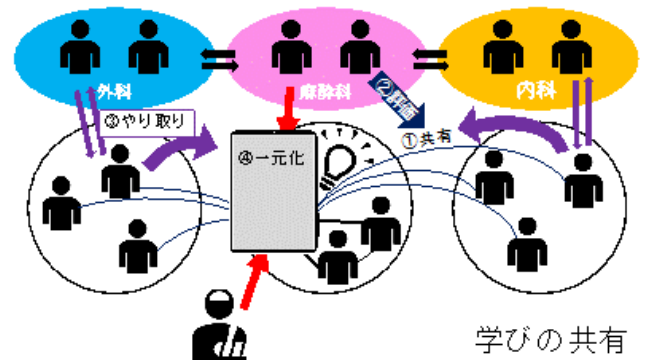
大学院医学系研究科 病態制御医学系 麻酔・蘇生・疼痛管理学講座

研究キーワード

医学教育、臨床実習、ICT、教育DX、Scheem-D、学びの共有

研究概要

医療現場は教育より臨床の比重が大きく、問診や身体診察など非言語的な情報が重要だと考えています。職人的要素も多く含まれており、言語化することが難しい一面があります。学生たちは同じ病院で同じ時間にそれぞれが異なることを学んでいます。その学びを一人で仕舞い込んでしまうのは非常にもったいないことです。「学びの共有」をテーマに、臨床実習をサポートするシステム開発を目指しています。クラウドベースでのメモの共有化を通じて、学生・教員が垣根を越えて臨床実習における学びを共有し、また密なコミュニケーション機能も併せることで臨床の言語化を目指します。初期研修医以降に動的マニュアルとして活かせるような連続性やUIも重要視しています。これらはDXでこそ実現できます。Scheem-D(文部科学省主催)で採択され実現に向けて開発を行っています。



設備投資 SDGs *New Standard*
医学部教育の底上げ

ネクストゴール **発展**

プラットフォーム

- 動画教材配信
- 研修病院就活支援
- SNS・掲示板・コラム
- 試験対策書籍とリンク

→ 学生へのサポート

予想される応用例

医療系に留まらないあらゆる分野の新しい学習プラットフォーム

産業界へのアピールポイント

長期にわたる学びの蓄積と共有化は学生教育のみならず、社内研修・部門間連携などにも活かせると考えております。